





審査結果報告書

2023年 8月 30日

主査	氏名	東條美奈子	
副査	氏名	佐藤 俊哉	
副査	氏名	門町 康雄	
副査	氏名	西山 和利	

1. 申請者氏名 : DM19019 永田 貴子

2. 論文テーマ :

光干渉断層法を用いた冠動脈高度石灰化症例における心血管イベント予測因子の検討

3. 論文審査結果 :

冠動脈の高度石灰化は経皮的冠動脈形成術後の転機を悪化させる因子と考えられている。申請者は薬剤溶出性ステント留置を必要とする高度石灰化病変を有する冠動脈疾患患者 237 例において、ステント留置前後の光干渉断層法によって定義された高度石灰化病変（噴出性石灰化結節）と石灰化フラップを伴う内膜解離は、ステント留置後の心血管イベント発症と関連していることを明らかにした。

研究は論理的に組み立てられており、研究手法には統計的あるいは倫理的な問題は認められず、研究領域に関する知識は深く、研究結果についても十分な考察がなされている。

学位審査におけるプレゼンテーションは、適切に要点がまとめられており、審査担当者が理解できるよう、わかりやすく説明する工夫がなされていた。研究の限界や今後の発展に関する考えについても述べられており、主査・副査からの質疑についても適切に答えた。

上記の結果より、主査・副査の3名の意見は全員一致し、本申請論文が博士課程の学位論文にふさわしいと判断した。